

小平の歴史を調べる

小平歴史に関する資料の調べ方を紹介します。

1 歴史全般・概要

『小平町誌』（小平町 1959）[K B1-10]

『小平町誌総索引』（小平市中央図書館 1990）[K B1-10]

『郷土こだいら』第2版～9版（小平市教育委員会 1967-86）[K B1-10]

『郷土こだいら総索引』（小平市中央図書館 1989）[K B1-10]

『小平市三〇年史』（小平市 1994）[K B1-10]

『小平市史』3冊（小平市企画政策部 2012-13）[K B1-10] 地理・考古・民俗編、近世編、近現代編

『小平市史索引』（小平市企画政策部 2014）[K B1-10]

『小平市史年表』（小平市企画政策部 2014）[K B1-10]

『小平の歴史(小平市史概要版)』（小平市企画政策部 2015）[K B1-10]

2 史料集

『武蔵国多摩郡小川村 小川家文書』（明治大学文学研究所 1954）[古文書庫]

『小平市文化財シリーズ1 小平に残る御門訴事件史料集』（小平郷土研究会 1980）[K B2-10]

『小平市文化財シリーズ2 古文書に見る小平の水』（小平郷土研究会 1984）[K V1-10]

『小平市史料集』30冊（小平市中央図書館 1993-2008）[K B2-10]

村明細帳・地誌・家別人別帳、村掟・五人組帳前書、御用留（大沼田新田・廻り田新田）、新田開発、村の生活、鷹場、玉川上水と分水、村入用、交通・運輸

『小平市史料集 近現代編』5冊（小平市企画政策部 2010-12）[K B2-10]

小平村議会会議録、小平町議会会議録、小平市関連新聞記事集、小平市の市民生活、小平の近現代基礎史料

3 古文書目録

『武蔵国多摩郡小川村 小川家文書』（明治大学文学研究所 1954）[古文書庫]

『小川村 小川家文書目録』2冊（明治大学図書館 1953-54）[古文書庫]

『小川村 小川家文書目録(手書き)』2冊（明治大学 1953）[古文書庫]

『小川新田 小川利雄家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-102]

『小川新田山家 滝島家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-102]

『大沼田新田 当麻伝兵衛家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-103]

『野中新田与右衛門組 高橋七三家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-104]

『野中新田善左衛門組 野中家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-105]

『鈴木新田 鈴木家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-106]

『廻り田新田 斉藤家文書目録(手書き)』コピー版（明治大学）[K B2-106]

『小平市文化財実態調査報告書』2冊（小平郷土研究会 1968, 73）[K B2-10]

1には鈴木家文書、野中家文書、宮崎家(神明宮)文書、金子家文書、立川家文書、2には当麻家文書を収録。

『古文書目録』23冊（小平市中央図書館 1979-2015）[K B2-10]

古文書目録15集、古書目録3集、御用留内容目録3集、小川家文書編年索引で構成。

4 研究会報・研究誌

『会報』2冊（小平郷土研究会 1962, 64）[K B0-10] ⇒ 内容検索可

創刊号には小川新田の民家:石原憲治、水車をめぐる用水論争:伊藤好一、成木石灰ものがたり:伊藤好一、川崎平右衛門と大沼田新田の井戸:小野潔、郷土閑話:小川愛次郎、武蔵野新田養料金一件始末と代官川崎平右衛門:小田徳四郎等を収録。2号には小川新田の民家:石原憲治、幕末期における鈴木新田の村入用、小川の習俗と年中行事について:並木修司・立川喜懿子、小金井のお花見:近内信輝、「小川の幸蔵」について:大谷泰久、お買い上げ木犀の運搬:小田徳四郎、小川村と石灰輸送:小川誠等を収録

『小平の歴史を拓く』2冊（小平市中央図書館 2009）[K B0-10] 古文書目録解題編、史料集解題編

『小平の歴史を拓く(市史研究)』6冊（小平市企画政策部 2009-14）[K B0-10] ⇒ 内容検索可

5 玉川上水 ⇒ 「玉川上水・野火留用水・分水について調べる」

6 新田開発・新田村落 ⇒ Z 2

『小平町誌』（小平町 1959）[K B1-10]

第二章小川村の開発(46-90p)、第三章享保時代の各新田の開発(91-173p)、第四章村の新しい動き(174-335p)

『郷土こいだいら』第2版～9版（小平市教育委員会 1967-86）[K B1-10]

小平のおいたち 一 小川村の開発(33-65p)、二 新しく開かれた村々の生活(66-101p)

『小平市史 近世編』（小平市企画政策部 2012）[K B1-10]

第一章 第一節ひらかれる小川村(39-83p)、第二節新たに生まれる村々(84-252p)

『小平の歴史(小平市史概要版)』（小平市企画政策部 2015）[K B1-10]

第一章 第二節小川村の開発(25-42p)、第三節享保の改革と新田開発(42-78p)

『小平市史料集』第12-14集（小平市中央図書館 1993-2008）[K B2-10]

『新田開発(小平市史料集第12集～14集)』（小平市中央図書館）[K B2-10]

『新田村落-武蔵野とその周辺-』（文雅堂銀行研究社 1972）[K Z2-02]

『近世の新田村』（吉川弘文館 1964）[K Z2-90]

『江戸地廻り経済の展開』（柏書房 1966）[K B5-00]

『江戸町人の研究 第3巻』（吉川弘文館 2006）[210.5]

江戸と周辺農村:伊藤好一

『小平の歴史を拓く(市史研究)』6冊（小平市企画政策部 2009-14）[K B0-10]

新田開発と武家抱屋敷-武蔵国多摩郡小川村の事例から-:三野行徳(第2号)、馬からみた小川村の開発史:小酒井大悟(第2号)、土豪開発新田の空間構成-小川村開発史の再検討-:小酒井大悟(第3号)、新田村の村役人-武蔵国多摩郡大沼田新田を事例として-:千葉真由美(第3号)、武蔵野新田における寺院建立の背景-野中新田の組分けをめぐって-:菅野洋介(第3号)、黄檗宗寺院の創建と新田村落-円成院を例に-:菅野洋介(第4号)

『駿河台日本史 第6号』コピー版（明治大学日本史研究会 1955）[K Z2-10]

新田開発における労働事情-武州多摩郡小川、榎戸新田に例をとって-:杉本敏夫、武蔵野新田成立の一形態-野中新田の場合-:山里玲子、近世武蔵野における鈴木新田開発の前提事情:浜田礼吉、大沼田新田開発の事情:橋本豊栄・児玉吟代、武州多摩郡廻り田新田における農民構造の分析:宮川康、小川九郎兵衛に関する史料の蒐集について:高島緑雄、「鷹場預り」についての覚書:木村礎、明治後半期における小川家の農業経営:伊藤好一、小平町調査の足跡

『武蔵国多摩郡 小川村村入用帳の研究』（明治高等学校 1954）[古文書庫]

『武蔵国多摩郡 鈴木新田の村入用』（伊藤好一）[古文書庫]

「歴研通信」(明治中学明治高校歴史研究会)[伊藤文庫]

近世小川村に於ける農業経営の発展:伊藤好一(第35号)、加藤家(四番組)の歴史—明治中期小川村に於ける地主の農業経営:伊藤好一(第44号)

『地方史研究』(地方史研究協議会)[書庫210.05]

近世小川村に於ける在郷商人の成立:伊藤好一(9)、近世における江戸近郊農村の商品流通:伊藤好一(13)

「関東近世史研究 第57号」(関東近世史研究会 2004)[K B5-93] 伊藤好一先生業績目録

『木村礎研究1(大学史紀要第16号)』(明治大学史資料センター 2012)[K Z2-02]

『新田村落』の成立過程:藤田昭造、に「新田村落」研究の経過を記す。

7 鷹場 ⇒ Z 3

『小平市史 近世編』(小平市企画政策部 2012)[K B1-10]

第二章 第四節鷹場にくらす—尾張家鷹場の規制と負担—(291-326p)

『小平の歴史(小平市史概要版)』(小平市企画政策部 2015)[K B1-10]

第一章 第五節鷹場の暮らし(85-92p)

『小平の歴史を拓く(市史研究)』第3号(小平市企画政策部 2009-14)[K B0-10]

尾州鷹場と小平市域の村々:蛭田晶子

『小平市史料集』第21-22集(小平市中央図書館 1993-2008)[K B2-10]

『江戸鷹場制度の研究』(吉川弘文館 2017)[K Z3-00]

『江戸幕府放鷹制度の研究』(吉川弘文館 2008)[K Z3-00]

『尾州藩の鷹場について』コピー版(青山学院大学卒論 1986)[K Z3-02]

「多摩のあゆみ 第50号」(多摩中央信用金庫 1988)[K Z3-02] 特集 御鷹場その1

尾州藩の鷹場について:榎本品子、「尾州様御鷹場杭場所書上帳」と尾州鷹場:蛭田廣一

「多摩のあゆみ 第51号」(多摩中央信用金庫 1988)[K Z3-02] 特集 御鷹場その2

鷹場と広域支配:伊藤好一、鷹場村の一挿話 尾州家鷹場との境界:赤木ぼく、公私日記より見た柴崎村:板谷二三男、尾州藩の御鷹野と鹿狩りについて:蛭田廣一、尾州鷹場の沿革について:榎本品子、近世江戸周辺農村の地域的特質:大石学、「將軍の鷹狩りと目黒」報告:目黒区守屋教育会館郷土資料室、武蔵東部低湿地の鷹狩りと鷹場:本間清利、立周辺の鷹狩りに関する二、三の資料:磯周二、江戸周辺鷹場内農民の生活と鷹野御用:馬場憲一、東葛西領の鷹場組合と触次役:樋口政則、高尾山における放生会について:吉岡孝

『御鷹場』(埼玉新聞社 1981)[K Z3-02]

『放鷹』(吉川弘文館 1983)[K Z3-90]

『徳川將軍家と鷹狩り』(徳川記念財団 2005)[K Z3-00]

『東京の鷹匠』(けやき出版 1993)[K Z3-00]

8 代官 ⇒ Z 4

『小平市史 近世編』(小平市企画政策部 2012)[K B1-10]

第二章 第三節支配する人たち

『江戸幕府の代官』(国書刊行会 1983)[K Z4-00]

『関東郡代』(埼玉新聞社 1977)[K Z4-01]

『代官川崎平右衛門の事績』(つばさ企画 1988)[K Z4-34]

『幕府代官伊奈氏と江戸周辺地域』(岩田書院 2010)[K Z4-87]

『葦山代官江川氏の研究』(吉川弘文館 1998)[K Z4-93]

『葦山代官(葦山町史第6巻)』2冊(葦山町史編纂委員会 1992-94)[K Z4-93]

『江戸幕府郡代代官史料集』(近藤出版社 1981) [K Z4-90]

9 戦争・戦災 ⇒ Z 5

『小平市史 近現代編』(小平市企画政策部 2013) [K B1-10]

第二章 第三節日清・日露戦争と小平村(182-196p) 第四章 第一節戦時開発と変わる小平(271-301p) 第二節戦時統制と戦時体制下の行財政(302-313p) 第三節戦争とくらしの仕組み(314-341p)

『小平の歴史(小平市史概要版)』(小平市企画政策部 2015) [K B1-10]

第五章 第二節日清戦争・日露戦争と小平村(211-215p) 第六章 第二節戦時開発と変わる小平(229-243p) 第三節戦争と暮らし(243-251p)

『平和のための戦争展』18冊(平和のための戦争展・小平実行委員会 1995-2013) [K Z5-10]

『ききがき そのとき小平では』10冊(小平・ききがきの会 1996-2013) [K Z5-10]

1~2は戦時下のくらし、3は市民の語る戦争の記憶、4は小平の兵士たち、5~10は21世紀に手渡す戦争体験、6は陸軍経理学校に勤めて

『里にうつりて』(お茶の水学童疎開の会 1988) [K Z5-10]

『疎開の子ども600日の記録』(東京女子高等師範学校附属国民学校集団疎開学園学童疎開記録保存グループ 1994) [K Z5-10]

『疎開は勝つため国のため—小平町受入れの戦時疎開について—』(蓮田宣夫 1996) [K Z5-10]

『多摩の空襲と戦災—50年前、ここは戦場だった』(けやき出版 1995) [K Z5-03]

『多摩地区の戦災と空襲に関する資料所在目録』(東京都市町村立図書館 1995) [K Z5-03]

『東京都戦災誌』(明元社 2005) [K Z5-00]

『東京大空襲・戦災誌』5巻(東京空襲を記録する会 1975) [K Z5-00]

10 街道

『小平市史 近世編』(小平市企画政策部 2012) [K B1-10]

序章 第一節南北に延びる道と武蔵野—古代・中世— 東山道武蔵路・鎌倉街道上道・青梅街道・五日市街道について記述。

『小平の歴史(小平市史概要版)』(小平市企画政策部 2015) [K B1-10]

序章 第三節古代・中世の古道 東山道武蔵路・鎌倉街道上道

『東京の道事典』(東京堂出版 2009) [K D5-00]

『地図でたどる多摩の街道』(けやき出版 2015) [K D5-03]

『多摩の街道—歩こうふるさとの道を—』(けやき出版 1992) [K D5-03]

青梅街道、鎌倉街道、五日市街道を収録。

『五日市街道(歴史の道調査報告書第1集)』(東京都教育委員会 1995) [K D5-00]

『青梅街道—江戸繁栄をささえた道—』(聚海書林 1984) [K D5-00]

『青梅街道』(木耳社 1982) [K D5-00]

『青梅街道(歴史の道調査報告書第3集)』(東京都教育委員会 1995) [K D5-00]

『青梅街道を歩く』(街と暮らし社 2007) [K D5-00]

『中世の道・鎌倉街道の探索』(テレコム・トリビューン社 2000) [K D5-93]

『古道紀行 鎌倉街道』(保育社 1994) [K D5-93]

『鎌倉街道上道』(けやき出版 1991) [K D5-93]

『鎌倉街道』(誠文堂新光社 1990) [K D5-93]

『鎌倉街道上道』(けやき出版 1991) [K D5-93]

『鎌倉街道 東京編』(そしえて 1983) [K D5-93]

- 『旧鎌倉街道—その道すじと沿道の史跡を歩く—』（さきたま出版会 1978）[K D5-93]
- 『鎌倉街道』4冊（有峰書店新社 1976-83）[K D5-93]
- 『東山道の実証的研究』（）吉川弘文館 2009）[R682.1]
- 『道路遺構等確認調査報告 平成12年度』（東京都教育委員会 2000）[K B3-20] 東山道武蔵路
- 『武蔵国分寺跡発掘調査概報34』（国分寺遺跡調査団 2009）[K B4-25] 東山道武蔵路の調査
- 『武蔵国分寺跡北方地区 日景山遺跡・東山道武蔵道』2冊（西国分寺地区遺跡調査会 1999）[K B4-25]
- 『推定東山道武蔵路—武蔵国分寺跡北西地区の遺跡—』（西国分寺地区遺跡調査団 1996）[K B4-25]
- 『狭小丘陵からみた古代の東村山 瓦塔の建つ風景』（東村山ふるさと歴史館 2011）[K B4-32]
東山道武蔵路
- 「多摩のあゆみ」（たましん地域文化財団）[K B0-03]
第103号：特集国府・国分寺・東山道、第88号：特集東山道武蔵路

11 御門訴事件

- 『小平市史 近世編』（小平市企画政策部 2012）[K B1-10]
第三章 第七節品川県庁に押しかける—品川県の成立と御門訴事件—
- 『小平の歴史(小平市史概要版)』（小平市企画政策部 2015）[K B1-10]
第三章 第四節御門訴事件(168-176p)
- 『小平の歴史を拓く(市史研究)』（小平市企画政策部 2009-14）[K B0-10]
近世近代移行期の小平市域を考える—明治初年品川県社倉騒動(「御門訴」事件)を中心に：久留島浩(第3号)、苛酷の中から目覚める百姓—御門訴事件「上」の再発見を機に—：飯畑幸男(第5号)
- 『御門訴事件と高札(文化財特別展平成15年度)』（小平市教育委員会 2003）[K B6-10]
- 『村の生活4(小平市史料集第18集)』（小平市中央図書館 2006）[K B2-10] 御門訴事件
- 『小平に残る御門訴事件関係史料集』（小平郷土研究会 1980）[K B2-10]
- 『御門訴事件—品川県社倉反対運動—』（飯畑幸男 2015）[K B6-03]
- 『御門訴事件と桜井家』（飯畑幸男 2012）[K B6-29]
- 『武蔵国多摩郡関前新田名主忠左衛門と御門訴事件』（故・井口忠左衛門百四十周年記念会 2008）
[K B6-37]
- 『田無の歴史』合冊版（田無市史編さん委員会 2009）[K B0-29]
「御門訴事件」とその後の田無：竹内光浩(2)
- 「むさし野の涙—社倉政策と御門訴事件—(歴史講座資料)」(田無市立中央公民館 1977) [K B0-29]
- 「多摩のあゆみ」（たましん地域文化財団）[K B0-03]
御門訴の展開過程—明治初年品川県社倉騒動—：森安彦(第58号)、品川県社倉騒動の背景と影響—
明治初年の農民運動と地方支配—：藤野敦(第58号)、武蔵野新田を襲った明治維新：竹内光浩(第58号)、
第26号：特集御門訴事件、旧品川県知事・古賀一平の孫古賀寛定(山村聡)氏を訪ねて：植田文雄(第28号)